

久御山中央公園再整備検討委員会(令和4年度 第4回)

<議事概要>

日時	令和5年2月 22 日(水)10:00~12:10
場所	役場1期庁舎 5階コンベンションホール
参加者	別紙の通り

No.	議 事
1	<p>久御山中央公園再整備基本計画案 について</p> <p>⇒事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料2の青四角の4点目「第2期久御山町総合計画」は誤りで、「第2期久御山町総合戦略」が正しい。(事務局(久御山町))</li> <li>水路に蓋をした場合、水が溢れたらどうするかという懸念があるが、溢れたことはあるのか。</li> <li>過去にあふれたことは無い。周りに田畑があり、そちらに水がたまるようなことはあった。近年集中豪雨の被害が大きくなっていることから、懸念として記載している。(事務局(久御山町))</li> <li>そのような集中豪雨のときのために調整池を整備すると理解した。</li> <li>想定以上の被害があることを想定する必要がある。</li> <li>まちづくりセンターと久御山中央公園、どちらが先に完成するのか。</li> <li>現在の予定だとまちづくりセンターが早い。(事務局)</li> <li>テニスコートは利用者が多いが、増設は想定されているのか。工事中はグラウンド等を使用できるのか。</li> <li>テニスコートは現状2面で全面貼り替えをしたばかりだが、現状維持に追加してさらなる提案を頂きたいと思っている。ハーフビルドの考え方をしており、将来的な増設も状況次第で議論していきたい。調整池の整備からグラウンドの整備までは利用できないが、代替施設として周辺のグラウンドを使用してもらうことになる。(事務局(久御山町))</li> </ul>
2	<p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりセンターとの仕分けを意識して考えなければならない。運営を民間委託するのは、民間の方が良い運営をしてくれるからと思うが、利用料金は公共施設として気軽に使えるような設定にしていきたい。</li> <li>棲み分けをする部分と、連携する部分がある。中央公園は屋外、まちづくりセンターは屋内の施設だということをもう少し強調したら良い。</li> <li>形が見えてきて実感がわいた。荒見苑は、ご年配の方専用になっている中、現状の利用者は使い続けながら、他の方も使えるようになると良い。入り口も、公園に気軽に入りやすいものとなると良い。飲食やシャワー等、利用目的となるものもあると良い。公園の面積が限られているため、大きな木の下でのブッシュ化(低木等が繁茂している状態)しているような場所も綺麗にし、子どもが走り回れるよう</li> </ul>

No.	議 事
	<p>な場所とになると良い。植栽を整備して、一体感のある良い景色が広がるようになると良い。ステージを現在使っていると、観客で通路がふさがっている。階段状の観覧スペースが確保されると良い。ステージがあることにより、盛り上がる使い方ができる。トイレについては分散して配置したほうが良いか、一箇所に固めた方が良いか、悩ましい。都市下水路上部空間については有効活用できると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 荒見苑については具体的に記載していないが、検討はどうなっているか。</li> <li>• 荒見苑は現在高齢者の福祉施設としてサークル等の活動場所となっているが、現状の利用者への配慮をしながら、空いている空間の利用や空き時間等に一般利用者が使えるような方法等を検討している。(事務局(久御山町))</li> <li>• 現段階で決め切る必要はないが、公募の際の提案の自由度に影響するので、早い段階で固めていく必要がある。断面ダイアグラムの中に、階段はあるが、スロープが無いので、階段のみが前提とならないようにスロープも追加していただきたい。舞台の中心性を強調したほうが良い。</li> <li>• 人の価値観の変化が大きい時代であるため、常に自由で成長でき、柔軟性のある公園とすることで長く愛される公園になると思う。完成してしまうと飽きられてしまう。大きなプロジェクトであるため、どの程度のコストがかかるのかが気になる。</li> <li>• 利用者がカスタマイズしながら使える、ハーフビルドの考え方は再度強調して進めていきたい。</li> <li>• 現状の構想の中で、トイレが少ないのではないかと。アンケートからもトイレへのニーズが読み取れるため、使い易さを考えるとある程度数は必要なのではないかと。歩くまちやまちづくりセンターとの連携を考えると、公園からまちづくりセンターを含めた他の施設までの距離等をPRすると良い。</li> <li>• トイレやおむつ替えのスペースの重要性は理解している。荒見苑が使えるかによっても計画は左右される。追々議論していく。(事務局)</li> <li>• 公園であるため箱モノとは違うが、それでもイニシャルコストだけではなく、ランニングコストも考えた設計とし、多少イニシャルコストが上がっても、トータルで経済的なものとしていただきたい。再整備をするということで住民の期待は高い。一方で、ゲートボール場は使えるのか等、既存の利用者が今と同じように使えなくなることを心配する人も一部いるので、十分な説明をする必要がある。また、荒見苑は管理棟としての機能を持たせるべきだと思うが、今の高齢者利用者の心配を早めに解消していく必要がある。細かいことだが、「そとにわ」として町の木・花(さざんか・さつき)を公園の象徴として取り入れていただきたい。</li> <li>• 公設民営の可能性も考え、より幅広い検討をしていただきたい。</li> <li>• 遊びのエリアは荒見苑から見える場所にあった方が良い。また、乳児と幼児の遊び場は分けられていると安全で安心して遊ばせられる。物価の高騰が続いているが、マルシェ等で久御山野菜を買ってもらえると良い。車を停める場所が充分にあるか心配。</li> <li>• 今回は少し違うが、低所得者のための野菜の販売等、福祉的な視点からの多目的な活用についても検討できる。</li> <li>• 遊びのエリアが端にあるが、現在の外のトイレを無くしてしまうと、荒見苑のトイレからは離れてしまう。</li> </ul>

No.	議 事
	<p>荒見苑のすぐ前に遊びのエリアがあるとトイレや雨の際に利用しやすくなる。現状のゾーニングだと、遊びエリアだけで完結してしまうため、他のエリアとの交流が生まれるような仕掛けになると良い。遊具についても、一般的なものだけではなく、使い方を限定しない、面白いものを導入できると良い。子どもの想像力を掻き立て、高低差や木なども使い、安全面やメンテナンス性も含めて、荒見苑の目の前に置けると良い。遊びのエリアが入口から歩くようになるのは良いし、マルシェをするエリアは道路に近い方がよいのでは。一体感を生む、利用者が端から端まで移動するような動線があると良い。人を引き込み、コミュニケーションを生む仕掛けが欲しい。そのためには、荒見苑の使い方が鍵となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゾーニングは確定しているものではないが、荒見苑との一体的な利用も視野に入れながら検討を深めていけると良い。遊具そのものを子どもが作るような発想のものも出てきている。</li> <li>• 模型上、トイレがなくなっているが、子どもが利用するエリアの近くにトイレや授乳室があったほうが良い。P34に「㊟町の防災力を高める空間」とあるが、調整池だけではなく、トイレも防災力の観点で必要な施設となる。荒見苑の浴室があまり使われていないようなので、使われていない部屋を必要な機能に変更する等できると良い。マルシェをする際の備品等を仕舞う倉庫のような場所も必要となる。各ゾーンについては、目的を限定しないもので、分かりやすい表現(南エリア、東エリア)とするのが良いのではないかと。</li> <li>• 市民が使いこなすためのインフラを整備について、もう少し掘り下げて考える必要がある。</li> <li>• 荒見苑と公園のバランスが重要。公園だけきれいになって荒見苑は古いまま等はちぐはぐ。子どものコミュニケーション能力の低下が気になるため、子どもの発表の場を作ってあげたい。みんなが笑顔で楽しめる公園を作っていきたい。</li> <li>• スポーツを通じて人と人が繋がる場所となる。幼児から高齢者の幅広い利用者が交わる場所となってほしい。中央公園の1日のように、交流が生まれると良い。グラウンドまで見渡しの良いものになると良い。ゾーニングについて、入り口を大きく目立つものとしていただきたい。住民の意見が公園整備に反映されることを期待する。</li> <li>• リモート参加のため模型を見ていない。模型を見た上で意見を申し上げたい。</li> <li>• 全体を通して、てんこ盛りな計画となっている。引き算をしていくと良い計画になると思う。どのような挑戦ができるか、何ができるのではなく、どういうプロセスで、誰の何がどう変わるのかを強調できると良い。基本方針の中に10の役割が組み込まれていると思うので、基本方針と10の役割をあえて重複して掲載しなくて良い。基本方針では、どのような利用イメージができるかを重要視してはどうか。基本方針①と②は同じで良いのではないかと。基本理念はキャッチーなものとしてあって良いと思うが、長い。「えんで育むまちのにわ」くらい短いもので良い。1日のイメージはもう少しバリエーションを付けられると良い。全員が1日中公園を利用しているので、実態に即し、もっと短時間の利用で交流が生まれるようにすると良い。この計画のチャレンジの一つは、ハーフビルドであること。一般的な行政の公園整備は、一括で予算をとって整備するやり方だが、ハーフビルドで必要な時に必要なものを整備できるような、長期的に予算を取るような方法ができると、本当に利用者のためになると思う。行</li> </ul>

No.	議 事
	<p>政財政上は難しいことだと思うが、是非実現していただきたい。事業スキームの検討の中で、Oが重要と説明をいただいているが、マネジメント段階のスキームについてほとんど記載がされていない。公園整備で最も重要なのは、誰がどういう財源でどれだけの期間運営をしていくのか、レベルも様々だが、そのようなことをOに含むのか、また特別な肩書の人を配置するのか、どのような役割を誰にお願いするのかを発注時に決まっていなくて、事業者の心づもりが変わってくる。いずれにしても、漏れなく記載された良い計画だと思うので、もう一段階ブラッシュアップしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 荒見苑が話の中心になっているが、八幡市の美濃山小学校ではコミュニティセンターが併設されており、利用者の高齢者が子どもを見守り、安心感につながっている。中央公園でも、このような、地域の人が子どもを見守るような仕組み作りができないかと思った。</li> <li>• 中央公園の機能は、屋外のコミュニティセンターというイメージがある。民間でどこまでできるかの見通しを立てることは難しいが、町として、必要な役割を果たしきれるのかを吟味し、実現していただきたい。初期投資だけではない、継続的な運営への投資が重要となる。次回までにさらに見通しを良くしていただく必要がある。荒見苑の利用についても、事務局内で検討を続け、町民への説明の際は分かりやすいものとしていただきたい。3章の内容と4章の内容の整理をすると、計画として分かりやすくなるのではないかと。大事なポイントが伝わりやすくなるように、調整いただきたい。</li> </ul>
3	<p>その他 ⇒事務局(久御山町)から説明</p>

以 上